



GH「あおば」移行者の送別会
今までありがとう!!

こざくら

NO.67 2011・5



冬の風物詩「凧揚げ」
頑張って作りました♪

平成23年度のスタートです。
今年も元気いっぱい笑顔で
駆け抜けましょう!!

新年度を迎えて

園長 大野 制

青葉の目にしみる季節となり、皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。また、平日頃より、こざくら園の運営に対しましては、格別のご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、三月十一日に三陸沖を震源とした未曾有の大震災と津波により東北地方を中心とする広範囲の地域で甚大な被害が発生しました。被災された地域の皆様の日も早い復旧・復興をお祈りする次第であります。お陰さまで、こざくら園はご利用者及び職員ともに新たな体制の中でそれぞれの目標に向かって元氣良く動き始め一月余りを経過しました。

本年度の運営については、次のことを重点に取り組んでまいります。

(一) 人権擁護の遵守

・ご利用者の基本的人権を擁護するため北海道障がい者条例の遵守と人権侵害ゼロを誓います。

(二) 個別支援計画に基づくサービス提供について

・ご利用者個々の状況に応じた個別支援計画に基づき安心・安全を第一にした個別支援を行います。

(三) こざくら園の園舎改修

・北海道障害者自立支援対策臨時特別基金の補助申請を行い、新事業体系に伴う日中活動の場所及び居室の狭隘化を図る改修を推進します。

(四) 地域生活移行の促進

・自活訓練事業等を活用して施設生活から地域生活の移行を推進します。

(五) 新事業体系移行への諸準備

・平成二十四年四月に定員四十名の施設入所支援及び生活介護事業で新事業体系に円滑に移行できるように準備委員会を中心に協議・検討をします。

(六) 授産工賃の安定

・職業支援活動の安定及び効率化を図り、豊かな生活が営まれるよう工賃の向上に努めます。

(七) 感染症対策の強化

・感染症対策委員会等を適宜に開催し予防等の徹底を図ります。

(八) 危機管理意識の強化

・職員は福祉サービス専門職員として責任をもって業務を遂行するとともに、危機管理に努めます。

(九) 資質の向上と人材育成

・職員はチームワークを重視した支援と良質なサービスの提供に努め人材育成が図られる組織を目指します。

以上を基本項目として、ご利用者のサービス提供の向上に努めるとともに、地域に根ざした施設運営の推進を図るために職員一丸となって努力してまいりますので、皆様方より一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

NTTどさんこ倶楽部様 ありがとうございます！

こざくら園
にNTTどさんこギフト倶楽部様よりご寄付をいただきました。



店長が来園され鷹嘴理事長に目録の贈呈を受けました。この度の寄付金で、映画上映に必要な機材を整備させていただきました。

こざくら園では利用者虹の会が主体となり、施設内でご利用者の皆さんに映画の上映会を開催しています。予てから新しい音響設備が欲しいと虹の会役員から要望が強かった備品です。

大切に施設内外において活用し余暇活動の充実を図っていきたいと思います。
ありがとうございました。
(中島)



寄附品目

- ①ホームシアター5.1 サラウンドシステム
- ②プロジェクター
- ③ブルーレイプレーヤー

★ 新規事業所紹介 ★ グループホーム「あおば」



平成二十三年三月七日に新しく完成した男性用「定員六名」のグループホーム「あおば」が開所しました。

こざくら園からは、自活訓練棟「りーふ」で地域移行の準備を進めていた三名（阿部也寸志さん、大場章仁さん、小野昌章さん）が入居しました。また、からまつ園から三名が入居され、新生活がスタートしています。グループホームに移行する事を報告した時は、期待と不安で胸が一杯といった様子でした。移る日が近付くにつれ、二月

★ 新規事業所紹介 ★

「あおば」で生活される方におかれましては、健康に気を付け仕事を頑張ってお楽しみください。生活していただくために、こざくら園では、退所者を祝うミニセレモニーを行いました。最後は笑顔で記念撮影を行いました。

「あおば」で生活される方におかれましては、健康に気を付け仕事を頑張ってお楽しみください。生活していただくために、こざくら園では、退所者を祝うミニセレモニーを行いました。最後は笑顔で記念撮影を行いました。

(吉田)



活動報告・研修報告

ピアカウンセリング講習会

三月二十日、「旭川働く仲間の会」主催で、からまつ園と合同でピアカウンセリング講座を行いました。講座は「楽しかったこと」、「悩んでいたこと」をテーマに、二グループに分かれて討議しました。皆さん共通して楽しかったことは旅行や外出に出かけたこと、悩んでいたことはグループホームに行けるのかということが挙げられていました。グループ討議で、皆さんがそれぞれの希望や意見を話し合えたことがとても良かったと思えました。



ピアカウンセリング講座を行って、普段皆さんが集まって悩みなどを話し合う機会が少なく、とても良い経験になったと感じました。旭川の皆さんと交流が生まれ、次回目の講座を開催したいと話が聞かれました。(古田)

人権セミナー

二月十三日、札幌市で開催された「人権セミナー」にご利用者三名が参加しました。障がいを持つている本話士で福祉政策への不満や要望を話し合いました。職場で働いている方々からは、有意義な休みの過ごし方などの講演があり、市内のサークルによるバンド演奏や踊りの披露がありました。利用者のための良い研修は、ご利用者の皆さんが福祉に関心を持って、園内で報告していただくことができました。(大井)



第19回人権セミナー

二〇二一年七月のアナログ放送終了にともない、地上デジタル放送へ完全に移行されます。

家族の会より寄贈を受け地デジ対応テレビを整備しました

この度、ごくら園家族の会から地上波デジタル対応テレビのご寄贈をいただき各居室に整備いたしました。

薄型の地デジ対応テレビとなり、今まで見慣れていたテレビと比べると、高画質・高音質で見られることで、ご利用者のみなさんは大変喜んでいきます。デジタル化で地域に密着した情報(ニュース・天気予報等)の配信により、今までにない便利なテレビの楽しみ方が広がりました。

また、購入させていただいたテレビのエコポイントで、和室のテレビを更新したと考えております。

ごくら園家族の会の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

ありがとうございました。(目下)

食堂にエアコンの整備

この度、食事環境と衛星面等の改善を図りたく食堂内にエアコンを設置することにしました。

近年の温暖化の影響なのか昨年は、道内においても猛暑となり、北海道人にとっては、確りとした暑さ対策を講じないと健康管理を維持することが難しい環境にあります。

夏バテを防止するためにも、適切な室温で食事を摂っていただければと考えています。

なお、エアコンの設置は、春休み期間中に行う予定で、帰園後楽しみにして下さい。(坂井)

新任・異動職員～精一杯頑張ります～

異動職員



名前：あびこ なつみ 安彦 夏美
 配属：西棟 なごみ班
 出身校：北海道環境福祉専門学校
 出身地：美瑛町

新任職員



名前：きむら ふみか 木村 芙美香
 配属：西棟 なごみ班
 出身校：経専北海道保育専門学校
 出身地：芦別市

新任職員



名前：やまもと あい 山本 愛惟
 配属：西棟 印刷班
 出身校：拓殖大学北海道短期大学
 出身地：旭川市

退職職員～これからも頑張って～

思い出をありがとう



退職者：中川原 由希・竹田 美幸・濱本 彩音・川嶋 恒

施設間交流会

毎年恒例のからまつ園・こぎくら園の合

同行事「施設間交流会」が四月十九日に「みなくる」で開催しました。

この交流会は、両施設のご利用者・職員の全員

が集まり、食事を摂りながら交流を深めることと、開園記念日をお祝いすることを目的に四月に開催しています。



今年、三月十一日に発生しました東日本大震災で被災された皆様の一日も早い復興と亡くなった方々に對しまして、黙祷を行いました。司会者の黙祷開始の言葉で、それまでガヤガヤとしていた会場内は誰ひとり声を出すこともなく、皆さんそれぞれの想いを抱いて黙祷を行っていました。

その後、虹の会の横田会長の乾杯の音頭とともに、会場内は賑やかな雰囲気となり会食を通じて親睦を深めました。

また、会の中では新任職員の紹介やカラオケを楽しむなど各々が有意義なひと時を過ごしていました。

(大浦)

平成23年度 個人担当一覧

東棟			西棟		
担当職員	副担当職員	利用者	担当職員	副担当職員	利用者
志戸田	鎌 仲	杉本さん 鈴木さん 水野さん	井 本	木 村	菅藤さん 土田さん 西山さん
大 浦	橋 本	神野さん 金本さん 富井さん	安 彦	井 本	菅原さん 松岡さん 渡邊さん
伊 賀	古 田	石王さん 牛木さん 松尾さん	沖	坂 井	中島さん 林 さん 宮川さん
佐 藤	吉 田	岩松さん 大庭さん 中村さん	山 本	下 家	胡 さん 黒川さん 武田さん
大 井	大 浦	片岡さん 寺井さん 三森さん	坂 井	沖	坂本さん 桜田さん
吉 田	佐 藤	阿部さん 星井さん 本間さん	木 村	安 彦	軍司さん 佐藤さん
古 田	伊 賀	池田さん 林 さん 横田さん	下 家	山 本	菅野さん 後藤さん
橋 本	大 井	岩 淵さん 高岡さん	一年間よろしくお願ひいたします。		
鎌 仲	志戸田	植地さん 柴口さん			

第8回 研究発表会

平成十五年度から南富良野大乗会が運営する施設職員の資質向上を図ることを目的に法人研究発表会を開催しています。今年度は当法人五施設（からまつ園・こざくら園・なんぷく香房・ふくしあ・一味園）と、旭川市内四施設（希望学園・第二希望学園・上川更生ハイム・旭川ねむのきの園）の参加の下で、複数法人による研究発表が二月十七日に「みなくる」で開催しました。

こざくら園は、次の三テーマを発表しました。

- ① 一時帰省に係る調査研究について
 - ② 金銭事情に係る調査研究について
 - ③ 障がいの重たい方の洗濯支援について
- また、「旭川ねむのきの園」の発表では、新事業体系に移行し、現在の事業内容や取り組んでいる活動等のご説明をいただきました。こざくら園についても平成二十四年度の新事業体系移行に向けて準備を進めている中で旧体系と新体系での課題や問題等を学ぶことができました。

例年とは違う形で実施された法人研究発表会ですが、同一法人内だけではなく、同じ志を持って支援業務を行っている他



事業所の話や聞いた良い発表会になりました。今回得た情報や知識を活かし、支援スキルの向上が図れるよう職員一同気持ちを新たにいたしました。研究発表に携わった職員の方皆さん、一年間の研究お疲れ様でした。
(大井)

職場実習者慰労会

南富良野町内の事業所で職場実習を行っている皆さんの日頃の労をねぎらう慰労会を、一月十八日にかなやま湖保養センターで開催しました。慰労会には、こざくら園・からまつ園の職場実習者八名が集まり、仕事の内容や楽しみなどを語りながら食事を満喫していました。

地域移行支援係

の担当者が中心となり、職場実習支援を行っていく中で、実習後の癒し（ケア）をどのようにサポートするかと考えた企画です。参加者からはご好評をいただいたようで、担当者としては嬉しい成果でした。実習者の皆さん、慰労会で充電したパワーを仕事に活かして頑張ってください。(志戸田)



連 凧 作 り



札幌市在住の凧揚げ愛好会様のご好意で、からまつ園前庭で連凧揚げを観覧しました。午前中にご利用者・職員も参加して約七十枚の凧を作成し、全長十メートルの連凧にしました。

寒い日でしたが、凧揚げには最高の風が吹いており多くの利用者さんが自分達の作った凧が空高く舞い上がっていくところを観望しました。連凧が上がっているのを真近で見るとは初めてというご利用者が多く、凧が上がった時には拍手が起こり「すごい!!」との歓声が上がっていました。
(井本)

行 事 予 定

5月	18日	花見会(鹿追町)
	23・26・27日	余暇外出
	24日	定期健康診断
	30日	合同避難訓練
6月	11日	法人設立30周年記念式典
	7・14・16日	町外外出(帯広市)
	17日	ソフトボール大会(鷹栖町)
	21日	交通安全教室
	27・29・30日	余暇外出
7月	23~24日	一泊旅行(第1班)
	2日	第31回大乗会スポ・レク交流会 家族の会総会
	21~22日	一泊旅行(第2班)

編 集 後 記

平成二十三年春、皆様におかれましては春をどのようにお迎えになりましたでしょうか？ 去る三月十一日に東日本大震災が発生し、多くの方が被災・犠牲になりました。地震発生から一ヶ月半余り経過した今も大きな余震が続いている状況です。また、福島原子力発電所では地震と津波の影響により放射能漏れが発生し、周辺地域住民や農・水産物等々に甚大な影響が出ている状況です。被災されました皆様にはお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。(大浦)